

坂の上の雲ミュージアム 開館10周年 記念シンポジウムを開催

『坂の上の雲』フィールドミュージアム構想の中核施設として平成19年4月に開館した坂の上の雲ミュージアムで開館10周年を記念し、平成29年12月3日にシンポジウムが行われました。



基調講演の様子



開館10周年を迎えた坂の上の雲ミュージアム



パネルディスカッションで意見交換



あいさつする野志市長

シンポジウムでは俳優の竹下景子さんらをゲストに迎え、『坂の上の雲』のまち松山の魅力やまちづくりに関する基調講演とパネルディスカッションが行われました。

基調講演を行った愛媛大学教育学部准教授・青木亮人さんは「松山は生きた文化を身近に味わえる場所。伝統や文化は伝えたい人、形に残したい人がいなければ残らないので、日常の何げない光景にも目を向けてほしい」と語りました。

続くパネルディスカッションでは「都市の魅力とまちづくりの可能性」をテーマに意見交換が行われ、竹下景子さんは坂の上の雲ミュージアムについて「昔の足跡と今の自分をつなげるきっかけとなる場所になれば」と話しました。

保存してください。いつかまた お役に立ちます

10周年を迎えて



坂の上の雲ミュージアム 松本啓治館長

司馬遼太郎さんの小説『坂の上の雲』は、松山出身の秋山好古・真之兄弟と正岡子規の3人の主人公を中心に1000人を超える人々の人生を通して、明治日本が近代国家へと成長していく姿が描かれています。当館は「近代国家制度の形成」、一日露戦争と明治のジャーナリズム、「人びとの人生」という3つの視点で小説『坂の上の雲』の作品世界にアプローチしています。

この10年間、毎年新たなテーマで展示を入れ替えてきました。形のない作品世界を目に見える形にするために、国内外を問わずさまざまなご協力をいただき、たくさんの来館者に喜んでいただくことができました。これからも、作品世界の中から魅力的なテーマを抽出し、『坂の上の雲』に描かれた時代と人々を分かりやすく表現していきます。松山には、歴史文化や自然環境、産業遺産などの魅力ある地域資源がたくさんあります。これからは市民・企業・大学などと連携し、松山の魅力を高め「住んでよし、訪れてよし」のまちをつくりあげていくための一翼を担ってまいりますので、皆さんも気軽に坂の上の雲ミュージアムを活用してください。

坂の上の雲ミュージアム利用案内

【開館時間】 9時～18時30分（入館は18時まで）
【休館日】 毎週月曜日（休日の場合は開館）
【観覧料】 一般400円、高校生・65歳以上200円
※中学生以下、身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳所持者およびその介護人は無料

36000 坂の上の雲ミュージアム事務所 ☎9152601・FAX 915

主な内容

- 第56回愛媛マラソン…2面
- いい、暮らし。まつやま…6面
- 市県民税の申告は3月15日まで…4面
- マイナンバーの記載による書類の省略…5面
- 市民ガイド…7～11面

発行：松山市役所
編集：総合政策部シティプロモーション推進課
毎月1日・15日
☎948-6705 ☎934-2578
http://www.city.matsuyama.ehime.jp/